

モーリタニアに対する無償資金協力（食糧援助）に関する書簡の交換

在モーリタニア日本国大使館

10月31日、モーリタニア経済・財務省において、清水久駐モーリタニア大使とエル・モクタール・ジャイ経済・財務大臣（H. E. Mr. El Moctar DJAY, Minister of Economy and Finance, Islamic Republic of Mauritania）との間で、供与額3.5億円（約1.1億ウギア）の無償資金協力（食糧援助）に関する書簡の交換が行われました。

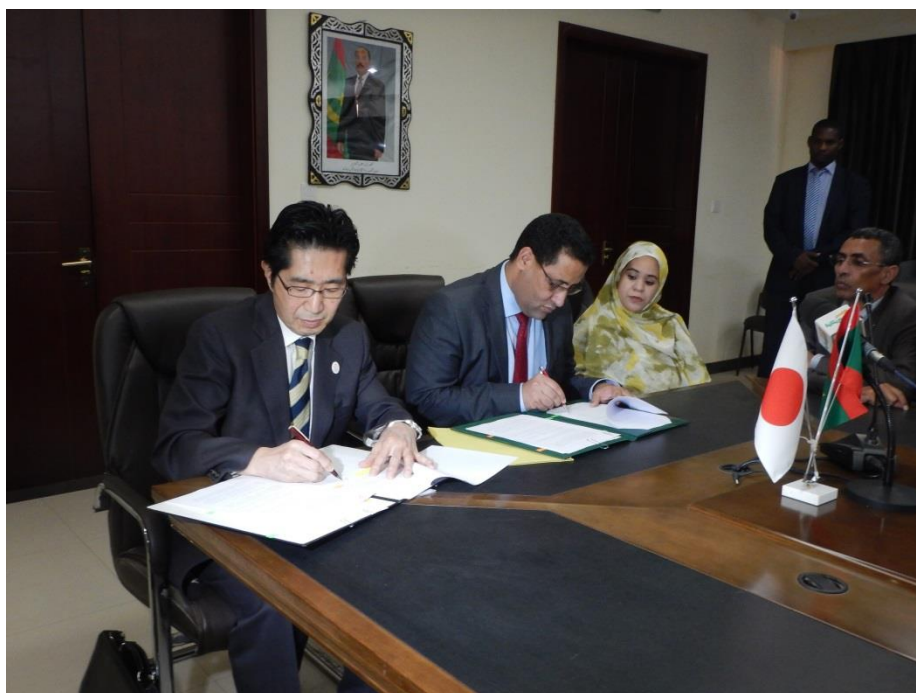
本援助を受けて、モーリタニア食糧安全保障庁（CSA）は市場に多くの米を供給できると同時に、資金を積み立て、モーリタニアの経済社会開発のための様々なプロジェクトを実施することができます。本資金によって実現されたプロジェクトを間近で見て、援助が有効活用されていることを確認するため、清水大使は、昨年と今年、ケタブCSA長官の案内で、ンバラル市、ンディアゴ市、アクジュージュト市、アタール市、シンゲッティ市、ワダン市を訪問しました。

食糧安全保障は日・モーリタニア協力関係において最も歴史が長く、かつ最も重視されている分野の一つです。日本は、モーリタニアに対する食糧援助を1981年に開始しました。今年の1月に署名された交換公文により、4.8億円（約1.5億ウギア）相当の日本米が、来年5月にモーリタニアに到着します。

我が国は、モハメド・ウルド・アブデル・アジズ・モーリタニア・イスラム共和国大統領が表明している貧困との闘いを支援してきました。我が国の食料援助は、特に弱者救済を目的とした人間の安全保障という観点からの貧困対策でもあり、大統領の同政策に合致するものです。

清水大使は、今回の合意が二国間友好関係の更なる増進と、両国民間の連帯の強化につながることを心より願っている旨述べました。

ジャイ大臣は、モーリタニア政府及び国民を代表して、日本政府及び日本国民に対し謝意を表明しました。



交換公文への署名



署名文書の交換



清水大使スピーチ



ジャイ大臣スピーチ